

令和3年度 教員免許状更新講習 シラバス

| | | | | | | | |
|--|----------|-----|-----------------------|----------|-------------|------|--|
| 講習 番号 | 1 | 講習名 | 【選択必修①】児童生徒の力を伸ばす授業改善 | | | | |
| 担当講師 | 開催地 | 時間数 | 主な受講対象者 | 受講人数 | 講習形式 | 試験方法 | |
| 下崎邦明 | 広島キャンパス | 6時間 | 全教諭, 養護教諭, 栄養教諭 | 30人 | 対面講義・ 演習 | 筆記 | |
| 開催日 | 8月23日(月) | | 予備日 | 8月30日(月) | | | |
| 【到達目標】 主体的な学びの意義と具体的な手法について習熟し、授業に中で戦略的に使用でき、児童生徒の力を伸ばす授業ができる力を身につける。 | | | | | | | |
| 【講習の概要】 主体的・対話的で深い学びについて、歴史的経緯を踏まえて、その意味を理解し、それを実現する方法について、具体を通して理解を深める。また、学習者を起点とした能動的で深い学びを実現するための授業方法について具体例を通して学び、実践的な指導力を身につける。 | | | | | | | |
| 【講習の内容】 講義1 コンピテンシー・ベースの学びと授業改善の意義 今日の変化の激しい社会にあって、コンピテンシーをベースとした学びへの転換が必要であることについて、また、これまでの学びの変遷や授業改善の取り組みについて理解を深める。さらに、現在、広島県で進められているコンピテンシー・ベースの学びと授業改善との関連及び意義について理解を深め、コンピテンシー・ベースの学びにおける授業デザインと具体的な進め方についての基本を学ぶ。 | | | | | | | |
| 講義2 ブルームのタクソノミーを活用した深い学びをすすめる授業の理論と実際 学びにおいては、なぜ学ぶかという目的・何を学ぶかという内容・どのように学ぶかという方法が、三位一体のものとして捉えなければならないことを理解する。これを踏まえて、ブルームのタクソノミーの理論と意義について理解を深め、改訂版ブルームのタクソノミーを活用した深い学びを促進するアクティブラーニングの手法について理解を深める。 | | | | | | | |
| 講義3・講義4 アクティブラーニングの手法の実際 100を超えるアクティブラーニングの手法及び深い学びを促進するアクティブラーニングの50の手法について、特に有用と思われる手法をできるだけ多く取り上げ、基本的な原理や具体的な進め方学ぶ。また、これらの手法のうち代表的な手法数例について、受講者が実際に体験することを通して理解を深め、授業において実際に使用できるようにする。 | | | | | | | |
| 【備考】 試験の際、講義資料とノートの持ち込みを認める。 | | | | | | | |